

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	B
施策2	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)	(年度)							
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	いしかわスイーツ博開催事業	観光客全般	8,000	8,000	B	廃止
								2	金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	20,100	20,100	B	継続
								3	いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、旅行会社等	4,000	4,000	B	継続
								4	体験型観光推進事業	観光客全般	5,000	3,371	B	継続
課題2	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	1,900	1,900	B	継続	
							2	ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	250	250	B	継続	
課題3	石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	一般観光客	127,650	127,650	B	継続	
課題4	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	加賀温泉旅館等誘客促進事業	観光客全般	18,000	8,164	C	継続	
施策2	課題1	観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、一般県民	1,700	1,700	A	継続

※人数については、暦年の数値である

# 事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業	事業開始年度	H24	事業終了予定年度		
		根拠法令	ほっと石川観光プラン2016			
		・計画等				

作	組	織	観光企画課		
成	職・氏名	主任主事 西島 明里			
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3919			

**◎事業の目的**  
「菓子処石川」において、特に女性に人気の高いスイーツをテーマにしたイベント等を行うことにより、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

**◎事業の概要**

(1) 主催 石川県、(公社)石川県観光連盟  
 (2) 協力 石川県菓子工業組合、(一社)石川県洋菓子協会  
 (3) 後援 北國新聞社  
 (4) 内容 百万石の菓子文化 いしかわスイーツ博2019

○イベント

- ・開催日時 令和元年10月19日(土)、20日(日) 10時～17時
- ・会場 石川県政記念しいのき迎賓館、長町武家屋敷跡「野村家」等
- ・内容 県内和洋菓子店による菓子販売  
和菓子づくり、クッキーづくり等、体験コーナーの設置  
県菓子工業組合金沢支部青年部「菓友会」創立50周年記念菓子の無料配布  
スイーツ茶会(長町武家屋敷跡「野村家」)

○各種媒体を活用した情報発信

①Instagram投稿キャンペーン

- ・実施時期 令和元年9月6日(金)～12月29日(日)
- ・内容 石川を訪れて食べた菓子・スイーツの感想と画像をInstagramへ投稿してもらうキャンペーン

②「石川の菓子文化」魅力発信強化事業

観光連盟公式サイト「ほっと石川旅ねっと」を活用し、石川の菓子文化の魅力をHPで全国に発信

- ・内容 石川の四季を彩る菓子文化の紹介(10月1日～)  
(上：前田家と菓子文化 下：石川の四季折々の菓子)  
(県菓子工業組合会長へのインタビュー形式)

(5) 事業費 12,000千円(県 8,000千円、市町等 4,000千円)  
 (6) 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況																				
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B													
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大																			
	指標	観光入り込み客数				単位	千人													
	目標値	現状値																		
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度														
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899														
事業費																				
	(単位：千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度														
事業費	予算	25,000	15,000	10,000	8,000	8,000														
	決算	25,000	15,000	10,000	8,000	8,000														
一般財源	予算	0	0	0	8,000	8,000														
	決算	0	0	0	8,000	8,000														
事業費累計		70,000	85,000	95,000	103,000	111,000														
評価																				
項目	評価	左記の評価の理由																		
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	対前年比で入場者数は減少したものの、前年から実施しているInstagramを活用した、投稿キャンペーンでは413件の投稿があり(前年比+127名)、菓子文化の発信に一定の効果があった。  <イベント入場者数> <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td> </tr> <tr> <td>21.0千人</td><td>22.0千人</td><td>42.0千人</td><td>42.0千人</td><td>17.0千人</td><td>20.0千人</td><td>15.0千人</td> </tr> </table> ※H27は井サミットとの合算 ※H28は食のてんこもりフェスタとの合算					H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人	20.0千人	15.0千人
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1													
21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人	20.0千人	15.0千人														
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	廃止	県内各地で他のスイーツ関連イベント・企画が開催されており、スイーツを契機とした誘客も始まっていることから、新幹線金沢開業を契機とした観光誘客の事業としては一定の役割を終えたため、事業を終了する。																		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度 H14	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組織	観光企画課					
	職・氏名	主事 池田 柚香子					
	電話番号	076	-	225	-	1542	内線

●事業の背景・目的  
 金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたイベントを実施(計67日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (10日間)	平成31年4月26日(金)～令和元年5月5日(日・祝)	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (3日間)	令和元年5月31日(金)～6月2日(日)	18:30～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間) 令和元年7月13日(土)、14日(日)、 19日(金)、20日(土)	19:30～21:30	ホテル観賞会
	(8日間) 令和元年8月2日(金)、3日(土)、10日(土)、11日(日・祝)、 16日(金)、17日(土)、23日(金)、24日(土)	18:30～21:00	ライトアップ
秋の段 (23日間)	令和元年11月2日(土)～24日(日)	17:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (19日間)	令和2年1月24日(金)～2月2日(日)、 2月8日(土)～16日(日)	17:30～21:00	ライトアップ

※ライトアップでは、ミニコンサートなども実施

●負担金交付先・事業規模

- ・交付先：石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長：石川県観光戦略推進部長)
- ・事業規模：37,700千円(県負担 20,100千円、金沢市負担 17,600千円)

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位：千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	17,600	17,600	17,600	17,600	20,100
	決算	17,600	17,600	17,600	17,600	20,100
一般財源	予算	17,600	17,600	10,200	17,600	20,100
	決算	17,600	17,600	10,200	17,600	20,100
事業費累計		138,651	156,251	173,851	191,451	211,551

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> 来園者へのアンケート結果によると、県外からの来園者の割合が全体の7割を超えたとともに、満足度についても約8割の方が「満足」と回答していることから、イベントの満足度は高く、また県外客の本県への誘客にも寄与していると考え。 (※ライトアップ時の来園者数 R1:192,049人 [前年度比96.5%])
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間互のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">継続</p> 金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園といった本県の貴重な観光施設を三位一体で見せることにより、夜の観光資源として着実に定着してきている。 R2年度は、鼠多門の完成に合わせてイベントを実施する等、まだ来園したことがない方のみならず、リピーターの獲得にも繋げるよう取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	専門員 吉田 真悟		
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922			

**事業の背景・目的**  
 北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。  
 29年度から、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置しており、引き続き、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

**事業の概要**  
 旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置  
 (業務内容)  
 (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発  
 (2) 旅行会社へのプロモーション

施策・課題の状況					
施策	<small>県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大</small>	評価	B		
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大				
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費					
<small>(単位：千円)</small>	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算		4,000	4,000	4,000
	決算		3,400	4,000	4,000
財源	予算		2,000	2,000	2,000
	決算		1,700	2,000	2,000
事業費累計			3,400	7,400	11,400

評価		項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B			旅行商品企画マネージャーの配置により、市町等への指導・助言や勉強会の開催等を通じ、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップ(現地へのアクセス方法の確保や観光素材を結んだ広域的な企画の開発)が図られた。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続			引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化を図る。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 体験型観光推進事業	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課
成	職・氏名	主事 長尾 実希子	
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3938	

**事業の背景・目的**  
 近年の消費トレンドは「モノ消費」から「コト消費」へ変化しており、旅行者のニーズも体験志向へと変化している。  
 こうした中、旅行会社からは、新たな体験やより深掘りした体験プログラムの提案を求められていることから、地域ごとの魅力あるテーマ・ストーリーに基づいた、石川ならではの新たな体験型観光素材の開発を推進し、地域の魅力の更なる磨き上げを図る。

**事業の概要**  
 市町・観光団体に素材開発の専門家を派遣し、観光素材の開発を支援する。  
 ①支援対象:市町・観光団体(6団体/年)  
 ②開発する素材:地域ごとのテーマ・ストーリーに基づいて、体験をはじめ施設見学や食事等をパッケージ化した「旅を通じて物語性が体感できる」新たな体験型観光素材

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費				3,000	5,000
予算				370	3,371
決算				370	3,371
一般				1,500	2,500
財源				185	1,685
事業費累計				370	3,741

項目		評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B		R1年度は6市町(団体)に素材開発の専門家を派遣し、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)に取り組んだ結果、計18素材がR2年度のプロモーション会議での提案に至った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続		県内全市町における新たな体験型観光素材の開発促進に向け、残る13市町への専門家派遣を行い、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)を支援する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	<b>事業開始年度</b> H27	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> 観光企画課
	<b>根拠法令 ・計画等</b> ほっと石川観光プラン2016		<b>成 職・氏名</b> 主任主事 小林 祐樹
			<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1619 内線 3957

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

新幹線開業後の実態や問題点を把握し検証するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

交 付 先 : (公社)石川県観光連盟

- (1) アンケートハガキの作成、設置  
設置先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等
- (2) 観光関係団体との情報共有  
いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	<b>指標</b>	<b>観光入り込み客数</b>			<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
<b>事業費</b>	予算	3,000	2,000	2,000	1,900	1,900
	決算	3,000	2,000	2,000	1,900	1,900
一般	予算	0	0	2,000	1,900	1,900
財源	決算	0	0	2,000	1,900	1,900
<b>事業費累計</b>		3,000	5,000	7,000	8,900	10,800

評価	
<b>項目</b>	<b>評価</b>
	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B これまでのお客様からの声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は対象施設に連絡し改善を促すといった取組みを積み重ねてきた結果、令和元年度に寄せられた意見では、「満足」、「やや満足」の評価が86.0%と、昨年度(平成30年度:82.2%)から3.8%の増となった。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続 引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 小林 祐樹
						者 電話番号	076 - 225 - 1619 内線 3957

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

観光事業者向け、一般県民向けの「おもてなし講座」を開催

交付先 : (公社)石川県観光連盟

スキルアップを図りたい観光事業者やおもてなしについて学びたい一般県民向けにおもてなしに関する講習会を開催する。(テーマに応じて講師を派遣)

対 象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、研修会等

内 容: 「私たちにもできるおもてなし」、従業員向けマナー講座など

講師例: 観光ボランティアガイド、観光事業者(宿泊・交通など)の経営者など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899	
事業費							
	(単位: 千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	500	500	400	320	250	
	決算	500	500	160	100	250	
一般	予算	500	0	400	320	250	
	決算	500	0	160	100	250	
事業費累計		24,700	25,200	25,600	25,920	26,170	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	これまで、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」等を開催し、延べ13,745人が受講している。(R1年度: 30回・1,074人) R1年度に観光客から寄せられたご意見も、「満足」、「やや満足」の評価が8割を超えており、おもてなしの維持・向上につながった。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保のため、引き続き、企業や団体へおもてなし講座の周知を行い、受講者の増加を目指し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主任主事 坂本 圭佑		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1126 内線 3917

**事業の背景・目的**  
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

**事業の概要**  
 1 貸付額 127,650千円  
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

**【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容**  
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり  
 <能登>  
 能登ふるさと博の開催((通年)、能登ドライブフォトキャンペーン、能登フォトブックの作成など)  
 <加賀>  
 加賀温泉郷ナイトイベントの開催、加賀の周遊観光促進、加賀四湯博の開催(6月～3月)など  
 <金沢>  
 玉泉院丸庭園スペシャルライトショー、金沢での音楽によるイベント(冬)など

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催  
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	石川ならではの魅力の発信						
	<b>指標</b>	観光入り込み客数				<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
<b>事業費</b>	予算		92,000	149,150	110,650	127,650
	決算		92,000	149,150	110,650	127,650
<b>一般財源</b>	予算		0	0	0	0
	決算		0	0	0	0
<b>事業費累計</b>			92,000	241,150	351,800	479,450

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業効果を全県に波及させるため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みを行った結果、能登・加賀・金沢それぞれで観光入込客数は開業前を上回っており、開業効果の全県波及に寄与している。 能登地域:R1 7,681千人(対H26比+110.8%) 加賀地域:R1 5,574千人(対H26比+104.3%) 白山地域:R1 968千人(対H26比+108.5%) 金沢地域:R1 10,676千人(対H26比+126.5%)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県開与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県内全域への誘客促進を図るため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進など、引き続き、(公社)観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	加賀温泉旅館等誘客促進事業	<b>事業開始年度</b>	H20	<b>事業終了予定年度</b>		<b>組 織</b>	観光企画課	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	ほっと石川観光プラン2016			<b>職・氏名</b>	主事 久田 光夏	
						<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1542	
							内線 3930	

<事業の背景及び目的>

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・辰口温泉・白山温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>

- 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)
- (1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)
- ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
  - ②協賛宿泊施設 83施設(あわづ温泉5、片山津温泉11、山代温泉17、山中温泉17、辰口温泉3、白山温泉郷30)
  - ③実施期間 令和元年6月7日～11月10日(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
  - ④料金体系(片道) 普通車1,600円、軽自動車1,400円、マイクロバス4,900円、大型バス10,800円
- (2) 広報宣伝の実施(2,500千円)
- ①協賛宿泊施設、観光関連団体、道の駅、三大都市圏などへの広報チラシ・ポスターの配布
  - ②渋滞予測ガイド広告掲載
  - ③PRツール(のぼり旗、パンフレットラック、ポストカード)作成・配布による広報宣伝
  - ④サービスエリアへのチラシ配架
  - ⑤SNS広告等

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	<b>指標</b>	<b>観光入り込み客数</b>			<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	令和元年度
<b>事業費</b>	<b>予算</b>	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	<b>決算</b>	11,492	11,098	8,841	7,670	8,164
<b>一般</b>	<b>予算</b>	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
<b>財源</b>	<b>決算</b>	11,492	11,098	8,841	7,670	8,164
<b>事業費累計</b>		199,687	210,785	219,626	227,296	245,296

評価																					
<b>項目</b>	<b>評価</b>																				
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	H30年12月に発生した斜面崩落の影響により開通期間が短くなったことで、片道無料キャンペーンの利用台数は大きく減少したものの、キャンペーン利用客からは「来年もぜひ実施してほしい」という声があるなど、宿泊者数の確保策としては一定の効果があった。  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> </tr> <tr> <td>開通期間(一部・全線)</td> <td style="text-align: center;">155 日間</td> <td style="text-align: center;">149 日間</td> <td style="text-align: center;">111 日間</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td style="text-align: center;">59,034 台</td> <td style="text-align: center;">59,351 台</td> <td style="text-align: center;">47,154 台</td> </tr> <tr> <td>日平均台数</td> <td style="text-align: center;">381 台</td> <td style="text-align: center;">398 台</td> <td style="text-align: center;">424 台</td> </tr> <tr> <td>片道無料キャンペーン</td> <td style="text-align: center;">4,640 台</td> <td style="text-align: center;">4,040 台</td> <td style="text-align: center;">3,069 台</td> </tr> </table>		H29	H30	R1	開通期間(一部・全線)	155 日間	149 日間	111 日間	利用台数	59,034 台	59,351 台	47,154 台	日平均台数	381 台	398 台	424 台	片道無料キャンペーン	4,640 台	4,040 台	3,069 台
	H29	H30	R1																		
開通期間(一部・全線)	155 日間	149 日間	111 日間																		
利用台数	59,034 台	59,351 台	47,154 台																		
日平均台数	381 台	398 台	424 台																		
片道無料キャンペーン	4,640 台	4,040 台	3,069 台																		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続  ホワイトロードを活用した加賀・白山エリアの誘客、さらには加賀地域の温泉旅館の宿泊者を確保していくため、インターネットや情報誌などで更なる周知を図り、引き続きキャンペーンの活用を通じた誘客に取り組む。																				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 次代を担う石川の観光人材育成事業	<b>事業開始年度</b> H28	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> 観光企画課
	<b>根拠法令・計画等</b> ほっと石川観光プラン2016		<b>成 職・氏名</b> 主任主事 小林 祐樹
			<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1619 内線 3957

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線の金沢開業に伴う観光入り込み客の拡大や外国人旅行者の増加、ICTの発達による旅行者の趣味嗜好の多様化など、本県観光をとりまく環境が大きく変化している。

こうした中、これからの石川の観光がさらに飛躍、発展するためには、既存の観光産業の枠にとらわれず、様々な業種の方々が分野を超えて新しいビジネスの創造にチャレンジするとともに、常に魅力あるサービス(価値)を提供していくことが求められている。

「いしかわ観光創造塾」では、受講生同士が将来のビジョンを共有し、ともに学ぶことで、企画・実行力を備えた次代のリーダーを育成する。

<事業の概要>

「いしかわ観光創造塾」の開催

- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象として、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、本県観光の飛躍・発展に貢献できる人材を育成する。

期間:平成31年4月～令和元年11月

講座:14回

内容:リーダーに求められる、マーケティングやマネジメント、ファイナンス等の能力について、一方的な講義ではなく、グループワークを基本とした主体的に学ぶ形式を採用し、かつ取扱う内容についても具体的な事例(ケースメソッド)を取り入れることで、実践的な課題解決手法を学ぶ。

交付先:(公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	観光振興を担う人材の育成					
	<b>指標</b>	観光入り込み客数			<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
<b>事業費</b>	予算		3,000	3,000	2,100	1,700
	決算		1,577	2,850	2,100	1,700
一般	予算			3,000	2,100	1,700
財源	決算			2,850	2,100	1,700
<b>事業費累計</b>			1,577	4,427	6,527	8,227

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	A	前年度を上回る28名(前年度比+2名)の参加があり、分野を超えたネットワークの構築による新たなビジネスの創出や、魅力あるサービス等の提供を後押ししたことで、受講生が連携して企画したツアーの販売が実現するなどの成果があった。 また、修了時のアンケートでは、満足度が100%と高い評価を得ている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、観光立県を標榜する本県観光の将来を担う人材の育成について、観光連盟や関係団体と連携して取り組んでいく。